

Dream Plan

令和4年度 ドリームプラン

グループ展 「Out of the box」 の開催

東京家政大学

家政学部造形表現学科3年

H.A. T.R. N.A. H.M. N.H. H.N. K.K. K.M. I.A.

家政学部児童学科 育児支援専攻3年

M.Y. Y.Y.

・応募のきっかけ

コロナ禍で対面授業が少なくなり、対面で講評してもらえなかったものを生で見たいと思った、自分の作品を見てもらう機会が全然ない！という思いがあったり、そういった話になると展示がしてみたいけれど一人じゃ勇気が出ない！他学科や外部の人と関わる機会がなくて悲しい！という気持ちがあることが分かりました。

これはきっと、私たちを含めた大学生の多くが抱えた想いです。どうにかしてその想いを消化させられないだろうか？と思うようになりました。

しかし、ギャラリーのレンタル料の高さ、宣伝の仕方、搬入や搬出など展示に関する知識、関係者とのコミュニケーション、など学生1人で全てこなすのはハードルが高いと思います。そういったことなどを考え、そんな機会が欲しい！と集まった私達が作ればいいのか？と話し合い、ドリームプランに応募しました。

・企画内容

学部不問の募集型グループ展

美術に限らず立体物や映像、服飾など幅広い分野を扱う。

・展示タイトル・コンセプトについて

今まで人の目に触れる機会がなかった作品や、作品を通して人と関わりたいという気持ち。それは全て箱に仕舞われた宝物のようなものです。そんな宝物を“箱から出して“みよう！というコンセプトから”Out of the box”と名付けました。

そして展示タイトルに box とあるので、どんな展示かわかりやすさも兼ねて展示方法に箱を使用しました。

・展覧会情報

展示タイトル：Out of the box

会期：令和5年2月5日~2月9日

展示会場：デザインフェスタギャラリー原宿 East 101-B

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-20-2

・費用の使い方

①会場代

②レンタル備品代

③DM とポスターなど宣伝用の印刷物代

④展示用の備品代

⑤交通費（一定区間）

・準備について

【メンバー集め】

立ち上げメンバー※1で応募用のGoogleフォームを作成し、Instagramや知人に宣伝。
学科関係なく展示メンバー※2や、サポートメンバー※3を募った。

※1 立ち上げ H.A. T.R. N.A. H.M. M.Y.

※2 展示参加 N.H. H.N. K.K. K.M. I.A.

※3 サポート Y.Y.

【ロゴ・DM制作】

制作はデザインが得意な T.R.が担当。

Out of the box 展のイメージを話し合いながら制作。



▲DM のスケッチ





▲完成した DM



▲DM にも使用したロゴ

- ・DM もロゴも展示のイメージがダイレクトに伝わるように意識した
- ・ロゴ：グッズ展開をしやすいように色数や要素を抑えつつ、個性が飛び出るイメージが消えないようにした
- ・DM：メンバーの作品を入れて展示のコンセプトに沿うようにした。また、ベースの色に白を使用するなど、会場に馴染むよう工夫した（T.R.）

【Instagram開設】

Instagramでは展示の宣伝に加えメンバーが自分で似顔絵を描き、自己紹介の投稿や、ストーリー機能で自分の作品の進捗状況などを発信。会期中もその日撮った写真を投稿。

【電話でのミーティング】

大人数ということもあり、ミーティングは電話中心でした。自分が何を作っているかの共有や締め切りなどの確認、質問する場として月に数回設けました。

【会場の下見】

実際にメンバー数人で展示会場へ足を運び、展示スペースの広さや雰囲気を確認しに行きました。その際にギャラリーのスタッフさんへ展示方法の質問をさせて頂きました。

【販売物の用意】

各自で販売したいものを制作。

実際に販売したものはポストカード、ステッカー、アクセサリ、ブローチ
当日その場で似顔絵の販売も実施。

・搬入の様子

一人分のスペースの把握や机の配置は決まっていたが、個人のスペースの配置は完全にその人に任せる形となった。



メンバー共通で使う箱は、その中に空間を作ったり、販売物を置いたり、感想箱にしたりとさまざまな使い方をした。

搬入、展示完了までは2時間で終わる予定であったが、当日に細かな配置を決めたり慣れない道具を使用したため3時間かかってしまった。事前計画をもう少し練っていれば時間内に終わったと思うので、そこは反省点です。

・展示の様子



5 日間という会期中には年齢も国籍も様々な方にお越しいただき、80 を超える人が販売物の購入をして下さいました。

展示が初めてのメンバーが多かったのですが、知り合いや親戚を招いて作品の説明をしたり、販売をしているうちに自分から話しかけに行ったりと展示ならではの関わり方を楽しんでいました。



在廊しているメンバーは限られた人数ですが、その間に似顔絵を有料で描くという企画も実践してみました。普段友達料金をとらずに描いているメンバーが友達に販売してみたり、展示を見に来た全く知らない人に注文してもらうなどめったにできない経験ができたと思います。

▲ポストカードサイズ・一律 500 円で販売

また、ギャラリーのスタッフさんには会期中に展示を見て頂き、お話をするとともにブログやInstagramで展示の宣伝をして頂きました。そしてギャラリーカフェのドリンクを差し入れして頂いたり、最終日の帰り際にはカフェのフードを振る舞って頂きました。

大人数の展示にもかかわらず 1 人 1 人のお話を聞いてくださったり、最後にメンバーでゆっくりお疲れ様と言い合える場を設けてくださり、本当に感謝しています。



展示を眺めたり、説明したり。

似顔絵を描いたり差し入れをもらったり。

大人数ということもあり、じっとしていることがあまりない会期中。



空きスペースに来場者の方に絵や宝物を飾ってもらうコーナーを設けたりと、すっきりとした空間より良い意味でごちゃごちゃしていて、見応えのある空間を作り出すことができました。

・メンバーの制作物、感想と今後の活動について



T.R. 油画・アクリル画・シルバーアクセサリー・絵本・グッズ制作

【全体の感想】

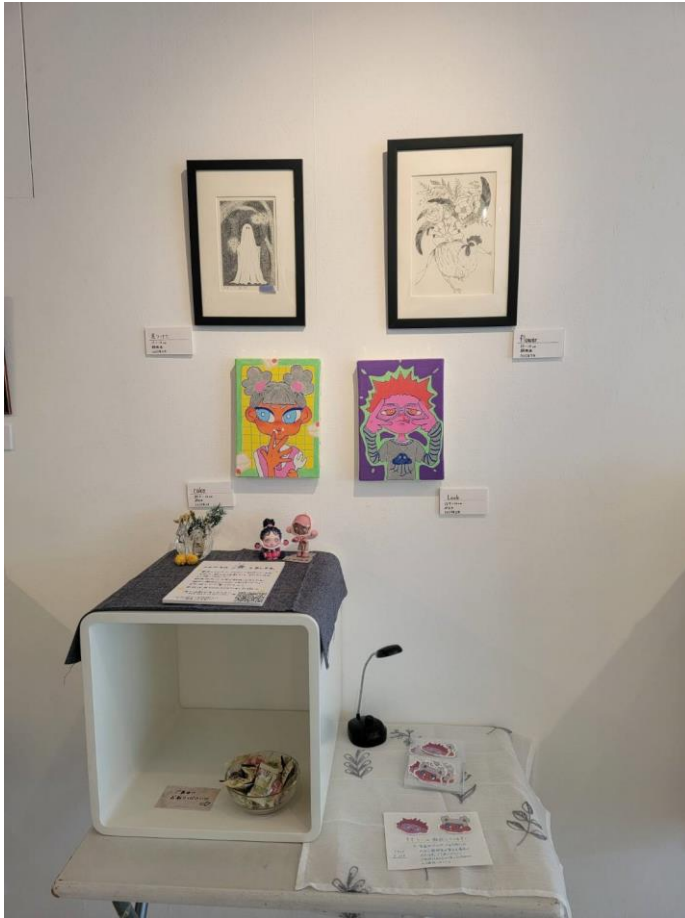
まず第1にこのグループ展を開催することが出来てとても良かったなと感じています。企画運営をすることで展示の際に必要なことを学ぶことが出来たし、また、他のメンバーの作品を見たり、解説を聞いたりする事が出来て、とても刺激を貰いました。

1人では出来ないことも人が集まればできるのだと感じたし、チームでやることの楽しさや心強さも実感しました。

個人的な反省や課題なども見つかったので、そこは今後の活動に活かして行きたいと思っています。

【今後の活動について】

やはり大学外での活動はとても勉強になると感じました。今までは『展示とはどうやるのだろうか?』『1人では不安だ』という気持ちがありましたが、この企画を通しその気持ちが無くなりました。同じような気持ちを持つ人達にも学外に飛び出す機会が与えられるといいなと思ったし、自分がそのきっかけを作れたらいいなと思います。それこそ out of the box のコンセプトそのものなので、第2回 out of the box 展と言った風に出来ても面白いかもしれません。学んだことや反省点を活かしながら、今後の活動に活かしていきたいと思っています。



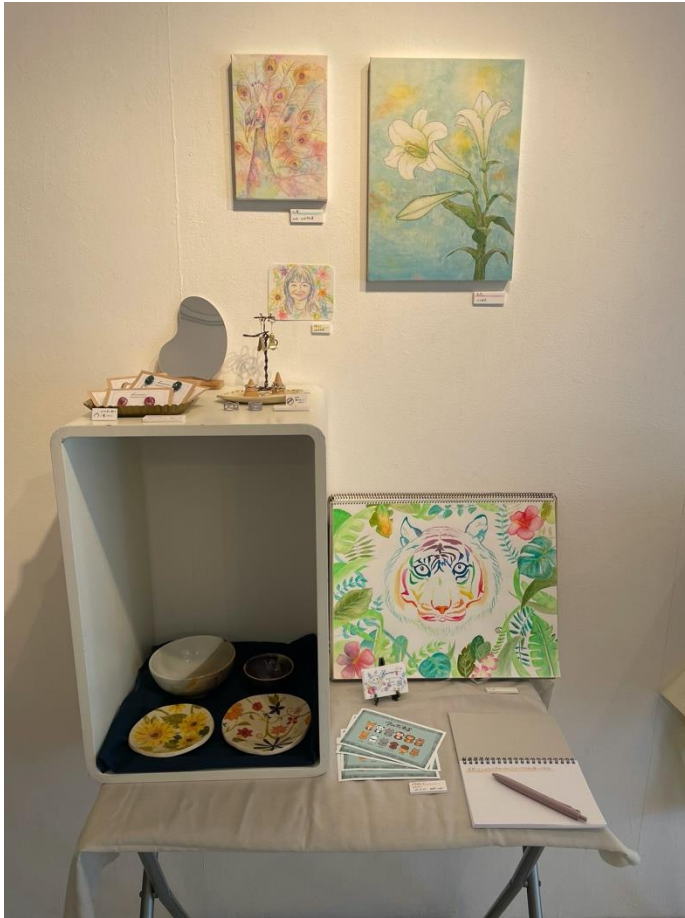
N.A. 銅版画・イラスト・グッズ制作

【全体の感想】

初めてグループ展に参加し、とても刺激になり楽しいグループ展になったと感じた。学科問わず新しく関わった人や学外の人とのつながりが増えた。他のメンバーの作品を見て今後の制作に参考になることばかりで、挑戦してみたいことが増えた。

【今後の活動について】

このグループ展を通して、自分の好きなことや考えなどを改めて考え直せる機会になったと感じている。また、展示や作品発信に対する不安やネガティブな感情もある程度なくなったため、今後の活動につなげていきたいと思う。



H.M. 日本画・水彩画・陶器・レジンアクセサリー・グッズ制作

【全体の感想】

グループ展を行ってみて、作品やその展示を通して様々な方と繋がることができて楽しかったです。展示メンバーとの繋がりはもちろんですが、ギャラリーの方や他の作家さんとも繋がりを持てる空間が本当に素敵だなと感じました。自分のことを知らない方にも作品を見て頂けたり、貴重な意見や感想を頂くことができて、自分自身のモチベーションにも繋がりました。グループ展の企画や運営に携わることも初めてだったので、とても貴重な経験になりました。

【今後の活動について】

今回のグループ展で、授業や学内でのイベントでは経験できないことがたくさんあり、とても刺激になりました。今後は、より自分自身の作品や制作をもっと充実させていくだけでなく、学外に出て様々な人や作品に触れることを積極的に行えたらと思います。機会があればまたグループ展も行いたいです！



N.H. ドレス・写真・布作品・陶芸作品制作

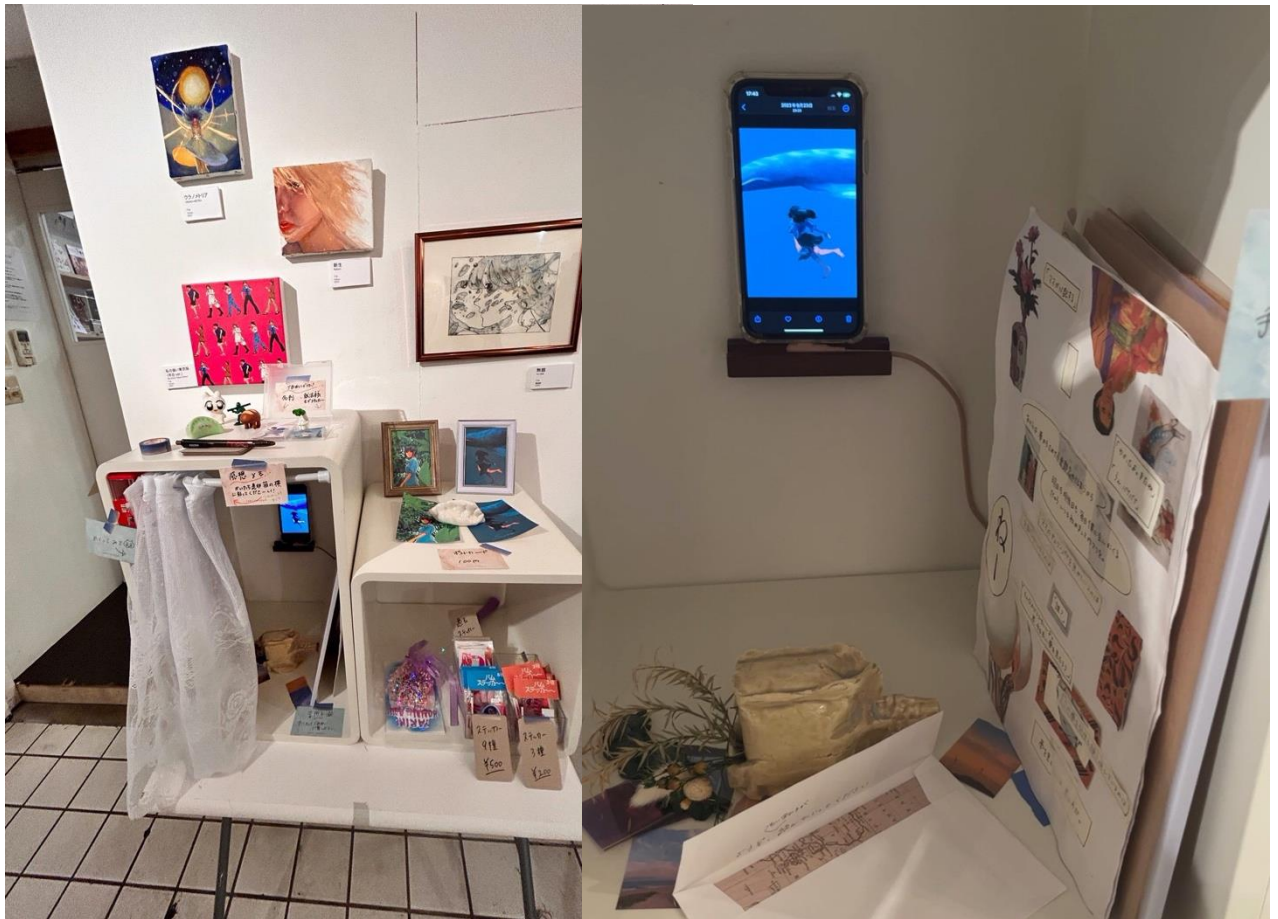
【全体の感想】

今回初めて学外の方と直接関わることのできるグループ展に参加する機会を頂いた。分からない事が多くある中で、主催メンバーをはじめとした友人に助けられながら当日を迎える事が出来た。他学科の方との交流を通して、アートは老若男女問わずコミュニケーションを生むきっかけとなると感じた。グループ展は多くの人で賑わい、一階が会場であったことから沢山の人の目を惹き、作品に興味を持ってもらう事ができた。個人としても友人や家族などを招き、名刺や SNS の解説など、ご来場頂いた方をもてなすホストとしての役割を果たす事が出来た。今回の活動を通して自分の作品を多くの人に知ってもらうと共に、ただ作るだけではなく、アーティストとしての意義とは何かを考えさせられる良いきっかけになった。

【今後の活動について】

今後大学内でグループ展や個展をする際の一例になれば良いと考える。造形表現学科だけで無く、学科を跨いだ交流も幅広い視野から考える事が出来る為、学内に募集の張り紙をするなど宣伝してみるのも面白いのでは無いだろうか。また、今回のグループ展メンバーで再度展示する機会を設ける事で、またさらに一段と良い展示ができるのでは無いか。全員が集まらなくとも、個人が一アーティストとして今回の展示経験がこれからの活動を有意義に

するきっかけになったのでは無いかと考える。



H.N. 映像・陶器・デジタルイラスト・アクリル画・グッズ・ポートフォリオ制作

【全体の感想】

今回の展示はメンバーに誘われて参加しましたが、とにかくたくさんのはじめましての方との出会いが多かったです。そういった点においてはグループ展示のとてもいいところだなと思いました改めて実感しました。

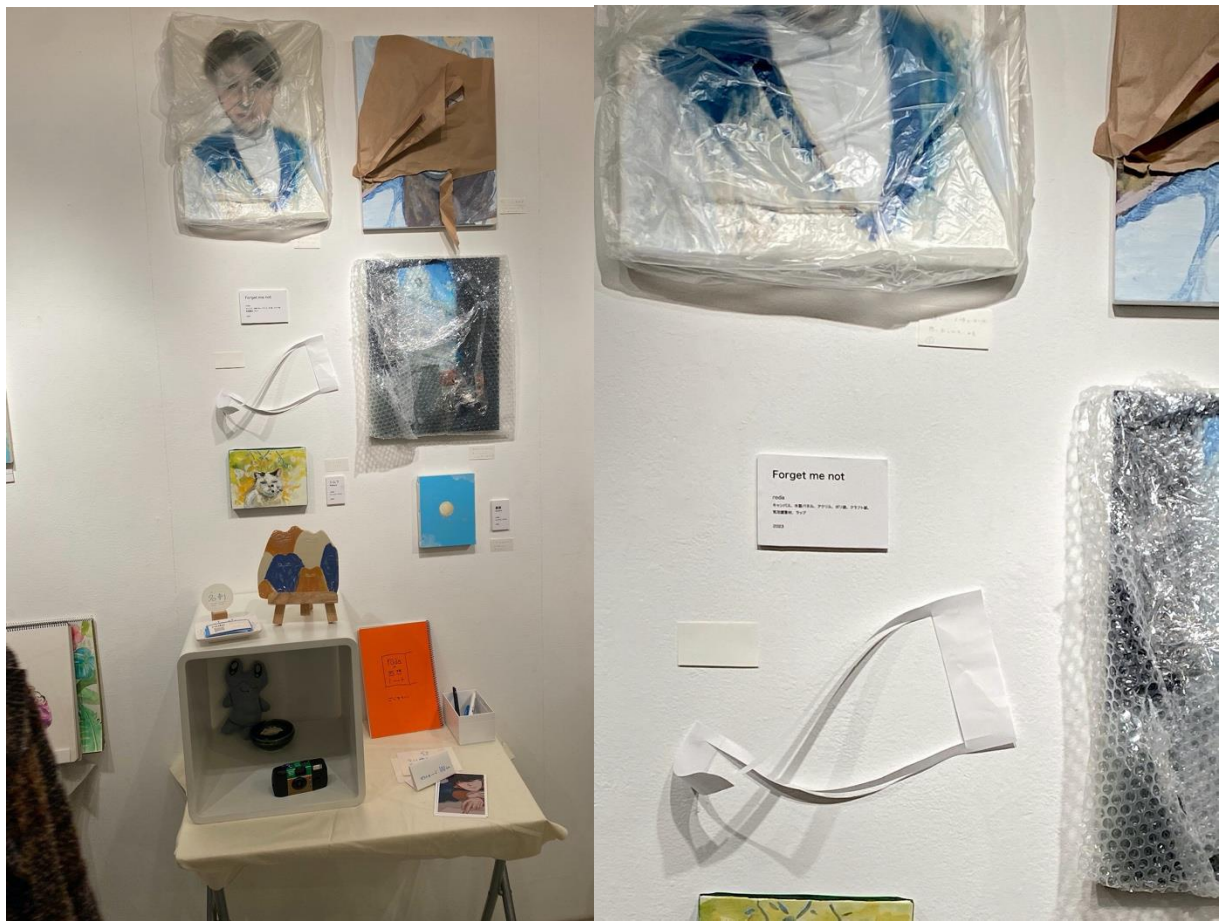
またその中で、色々な人がそれぞれの視点から様々な感想を言っていて、とても新鮮な気持ちになりました。

また今回の展示はテーマがたからものということで、メンバーのそれぞれを構成するものの一端が覗けたような気がして面白かったと思います。

【今後の活動について】

今後は就活が始まるのでそっちに本腰を入れなければなりません、大学を卒業する前には絶対にもう一度展示をしたいと思っています。

在学中の間は、様々な表現方法をできる場にとっても恵まれている場だと思うので臆せず積極的に制作に取り組んでいきたいと思っています。



K.K. アクリル画・陶芸作品・グッズ制作

【全体の感想】

本当に楽しい展示だった！メンバーのみんなが呼んだ知り合いも通りすがりの人々もたくさん見に来てくれて嬉しかった。初めて展示を経験する自分はずっと緊張していたけど、自分の好きに共感してくれる人が多数いて安心した。

【今後の活動について】

今後も学外で展示したいと感じた。募集に参加するだけでなく、自分から展示を企画するのも面白そうだと感じた。



K.M. 油画・水彩画・日本画・陶芸作品・ガラス作品・グッズ制作

【全体の感想】

展示に参加するのは初めてだったのですごく新鮮で楽しかったです。自分の作品を見てもらえること、目の前で手に取ってもらえることがこんなに嬉しく、次の制作のモチベーションになるとは思いませんでした。みんな作品の雰囲気がバラバラであり話したことのない子たちともたくさんお話しできて輪が広がるきっかけになり最高でした。参加できて良かったです。

【今後の活動について】

2回目も開けたら嬉しいです。役割分担をしっかりとスムーズに行えたらいいなと思いました。

また、個人的に別で展示を行ってみたいとも思いました。参加させてもらう側ではなく企画立案もやってみたいなと思いました。新しい作品の制作頑張ります！



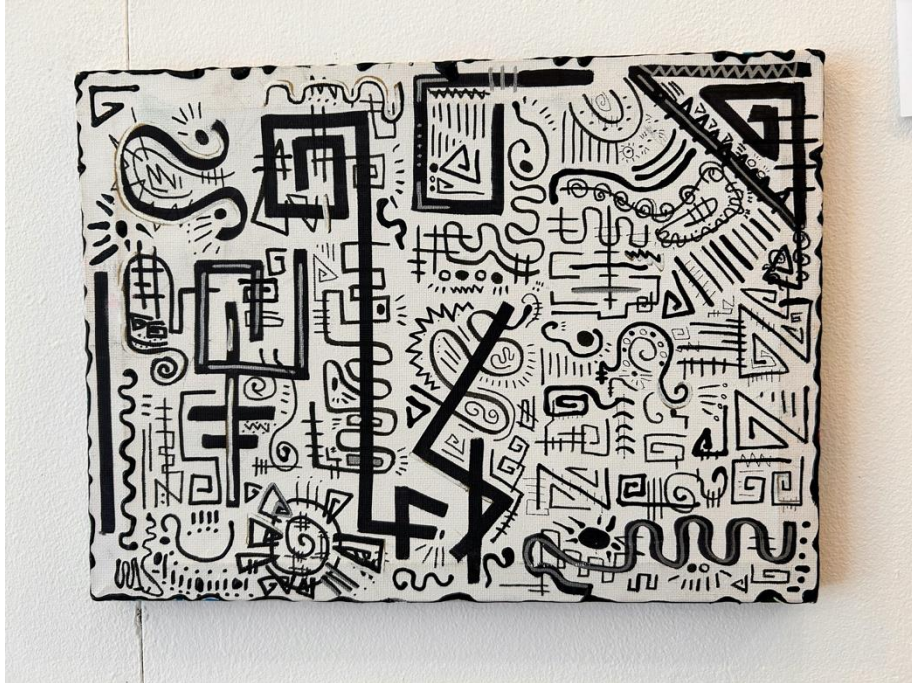
I.A. 油画、粘土作品、デジタルイラスト、アクリル画

【全体の感想】

新しい出会いが沢山あって、すごく楽しかったです！自分の作品に興味を持って聞きに来てくれる人がこんなにいるのかと感動しました。仲間からの刺激もものすごく、私には無かったタッチや色使い、発想があって、造形に入って良かったなあとしみじみ思いました。友達の友達とも知り合いになれたり、なんかもうみんな可愛くて幸せでした。

【今後の活動について】

制作は今年もずっと続けていくつもりです。またグループ展にも参加したいですが、ちゃんと作品を描き貯めて2人展、個展を開ければいいなと思っています。



M.Y. 粘土作品・イラスト作品・積み木・アクリル画・グッズ制作

【全体の感想】

造形表現を行う仲間たちの視点を知ることが出来たことがとても面白かった。作品を見るだけではなくて、作品の制作背景を知ると、製作者の感覚や思いまで知ることができた。また、展示会の名前とおり、自分の内にあるものを作品を通してを外に出し、人に触れることで、新しい見え方があったことも、展示したからこそ出来たと思う。展示会を通して、展示をしていくにあたっての制作から開催中の流れは、大きな学びであった。

【今後の活動について】

また、展示会を行えたらうれしい！

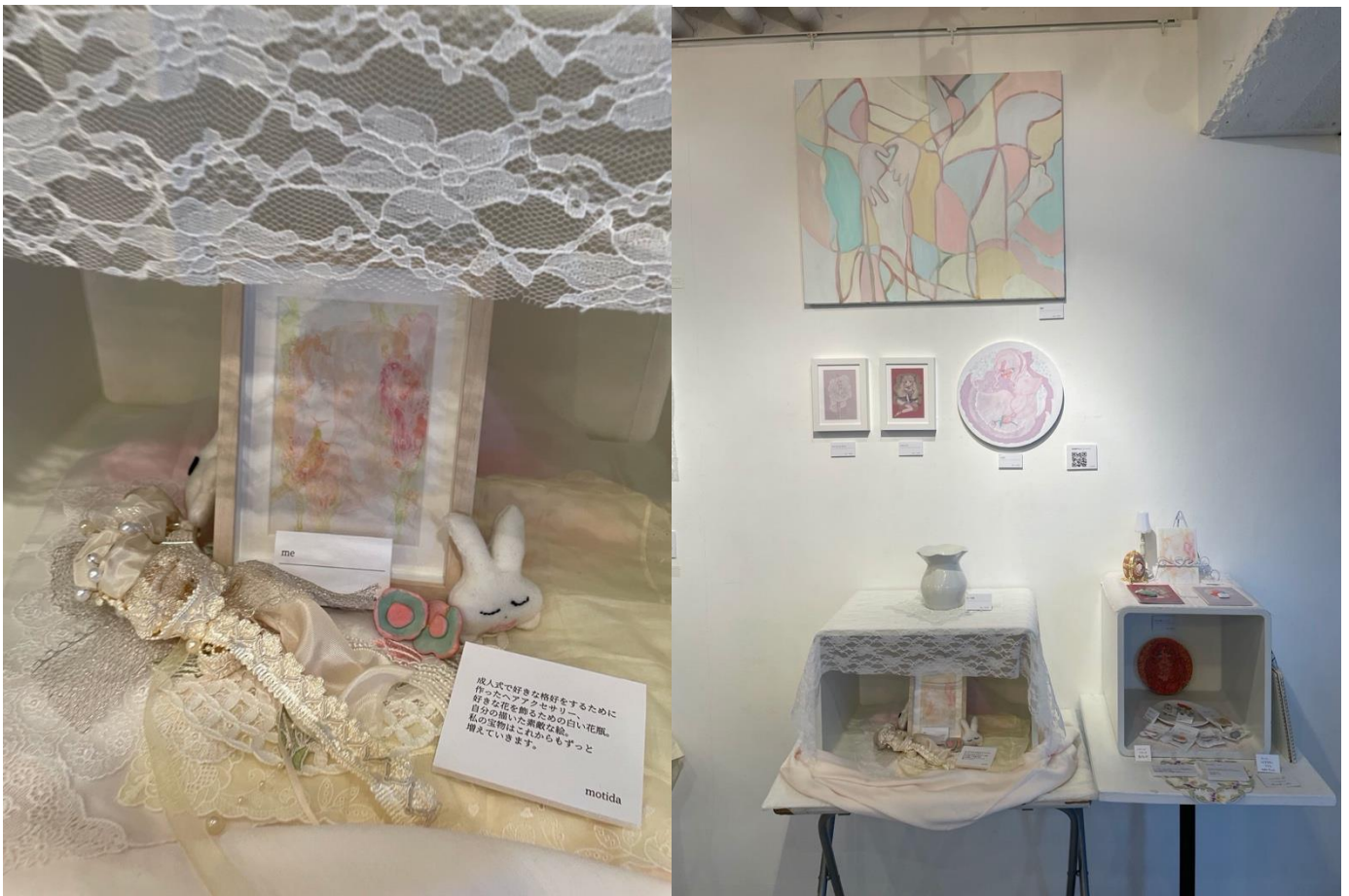
今回の振り返りをもとに、役割を明確にしたり、ある程度のルールがあったら良いと思う。こういった展示会が、無理にやることなく様々なきっかけになる、ワクワクするものでありたいなあと。そのためには、次に向けての改善を実践してみることが大切だと思う。また、モノとして今回の展示を記録したい。例えば、写真をまとめたり、冊子にすることができたら良い（私だけでは出来ないなので、力を借りることになります...）
また、今後もみんなの作品を見たい！わたしも作りたいです。

Y.Y. サポートメンバー

みんなが本当に好きなことに向かって一生懸命動いて、工夫している姿がカッコよかったし、すごく眩しかったです。

実際に作品は見ることはできなかったけど、写真を見て、細かいところまで工夫してあったり試行錯誤してより良いものにしようとする姿などなど、自分の好きなことをやり通すってすごく楽しいことだけど難しかったり辛い一面もあったのではないかと思います。それでも、笑顔で作品に向き合うみんなの姿は本当にキラキラしていました！

※当日搬入の手伝いをしてもらはずでしたが、発熱のためお休みしていました。



H.A. 油画・デジタルイラスト・陶芸作品・粘土アクセサリー・アクリル画・グッズ制作

【全体の感想】

まずやりたいことを応援してくださった後援会のみなさま、自分のやりたいことを話し合い、賛同してくれた仲間と、ギャラリーのスタッフさん、来場者のみなさまなどこの展示に関わってくださった方に心からのお礼を申し上げます。

正直展示経験者だからといって何回もしたわけではないし、なんでも知っているわけではないうえ、企画の立ち上げ、運営などリーダー的な役割に慣れているわけではないので不安が多く、本当にやり切れるのか半年あまり悩み続けていました。ですが当日になってみんなの作品が並んだ会場を見たら、これが見たかった、見たかったものを作りあげられた！という達成感でいっぱいになりました。

クラスや学科が同じではないメンバーとたくさん関わったり、学外の方と関わったり、普段関わらない後援会のみなさまとも関わって、この場を設けた意味を展示が終わってからしみじみと感じています。今後もドリームプランでそういった経験をする人が増えたらいいなと思います。

【今後の活動について】

引き続き自分の好きな絵やものを追求していくことに加え、この展示で得たグループをまとめる経験、展示の知識を生かしてまたグループ展の企画をしてみたり、個人での展示も視

野に入りたいと思います。また、デザインフェスタギャラリーだけでないギャラリーを探したりと、色々なところで発表の場を探してみたいと思います。

